

平成28年度 財政状況資料集

総括表（都道府県）

都道府県名	神奈川県		職員の状況			区分		平成28年度(千円)	平成27年度(千円)	区分		平成28年度(千円・%)	平成27年度(千円・%)		
			区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)	歳入総額	歳入歳出差引	実質収支比率	経常収支比率	標準財政規模	財政力指数	公債費負担比率	健全化判断比率	実質赤字比率	連結実質赤字比率
グループ	B		知事	1	14,500	歳入総額	2,013,094,843	2,027,344,346	98.7	98.7	98.7	97.1			
人口	27年国調(人)	9,126,213	副知事	3	11,600	翌年度に繰越すべき財源	19,648,659	20,972,207	(※1)	(109.5)	(109.5)	(108.3)			
	22年国調(人)	9,048,302	教育長	1	9,500	実質収支	14,472,503	13,858,916	0.90832	0.90832	0.90832	0.91745			
	増減率(%)	0.9	議会議長	1	12,000	単年度収支	5,176,156	7,113,291	17.5	17.5	17.5	17.2			
			議会副議長	1	10,800	積立金	-1,937,135	-434,477	-	-	-	-	-		
住民基本台帳人口 (※6)	29.01.01(人)	9,155,389	議会議員	103	9,700	繰上償還金	3,606,168	3,883,278	-	-	-	-			
	うち日本人(人)	8,969,530	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	積立金取崩し額	5,300,000	3,300,000	-	-	-	-		
	28.01.01(人)	9,136,151	一般職員	10,788	36,366,348	3,371	実質単年度収支	-3,630,967	148,801	11.4	12.0	12.0			
	うち日本人(人)	8,961,724	うち消防職員	-	-	-	基準財政収入額	970,044,302	947,912,066	127.0	132.3	132.3	132.3		
	増減率(%)	0.2	うち技能労務職員	293	1,024,035	3,495	基準財政需要額	1,074,293,459	1,047,374,413	-	-	-	-		
面積(km ²)	2,416		うち技能労務職員	293	1,024,035	3,495	標準税収入額等	1,203,697,330	1,173,217,839	-	-	-	-		
人口密度(人/km ²)	3,790		警察官	15,538	50,032,360	3,220	經常経費充当一般財源等	1,392,616,618	1,369,286,411	-	-	-	-		
世帯数(世帯)	3,979,278		教育公務員	23,347	82,716,240	3,543	歳入一般財源等	1,688,424,794	1,698,089,128	-	-	-	-		
			臨時職員	-	-	-	地方債現在高	3,658,644,846	3,700,173,082	-	-	-	-		
			合計	49,673	169,114,948	3,405	うち公的資金	334,679,208	330,821,700	-	-	-	-		
			ラスバイレス指数	102.9			債務負担行為額(支出予定額)	339,420,452	355,960,296	-	-	-	-		
							収益事業収入	8,377,166	9,238,986	-	-	-	-		
							定額運用基金	-	-	-	-	-	-		
							土地開発基金	-	-	-	-	-	-		
							積立金 現在高								
							財政調整基金	70,810,395	72,504,227						
							減債基金	50,850,460	72,646,342						
							その他特定目的基金	72,998,485	76,190,535						

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 団体名	(※3)
(1)	一般会計			(11)	水道事業会計	(16)	流域下水道事業会計	(17) 神奈川県内広域水道企業団	(19) (一財) 神奈川県厚生福利振興会	○
(2)	公債管理特別会計			(12)	電気事業会計			(18) 神奈川県川崎競馬組合	(20) (公財) 神奈川県科学技術アカデミー	
(3)	公営競技収益配分金等管理会計			(13)	公営企業資金等運用事業会計				(21) (株) 湘南国際村協会	
(4)	地方消費税清算会計			(14)	相模川総合開発共同事業会計				(22) (公財) 宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	
(5)	市町村自治振興事業会計			(15)	酒匂川総合開発事業会計				(23) (公財) かながわ国際交流財団	
(6)	災害救助基金会計								(24) (公財) 神奈川県文学振興会	
(7)	水源環境保全・再生事業会計								(25) (公財) 神奈川県芸術文化財団	
(8)	農業改良基金会計								(26) (公財) かながわ健康財団	
(9)	恩賜記念林業振興基金会計								(27) (公財) 神奈川県生活衛生営業指導センター	
(10)	林業改善基金会計								(28) (一財) あしがら勤労者いきいの村	

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。

※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。

※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。

※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。

※5: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

※6: 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・％）				道府県税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	1,250,484,759	61.5	1,041,141,626	81.9	普通税	1,250,467,515	100.0	23,022,521
地方譲与税	119,115,123	5.9	119,115,123	9.4	法定普通税	1,250,467,515	100.0	23,022,521
地方揮発油譲与税	1,855,633	0.1	1,855,633	0.1	道府県民税	507,269,511	40.6	10,023,927
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	8,213,358	0.7	1,352,447
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	438,585,505	35.1	2,609,080
石油ガス譲与税	84,744	0.0	84,744	0.0	法人均等割	7,346,851	0.6	-
航空機燃料譲与税	-	-	-	-	法人税割	31,581,519	2.5	6,062,400
地方法人特別譲与税	117,174,746	5.8	117,174,746	9.2	利子割	2,557,914	0.2	-
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	11,732,020	0.9	-
地方特例交付金	4,278,062	0.2	4,278,062	0.3	株式等譲渡所得割	7,252,344	0.6	-
地方交付税	104,078,490	5.1	103,365,384	8.1	事業税	262,344,559	21.0	12,998,594
普通交付税	103,365,384	5.1	103,365,384	8.1	個人分	18,238,547	1.5	-
特別交付税	600,518	0.0	-	-	法人分	244,106,012	19.5	12,998,594
震災復興特別交付税	112,588	0.0	-	-	地方消費税	300,159,075	24.0	-
(一般財源計)	1,477,956,434	72.7	1,267,900,195	99.7	不動産取得税	28,957,664	2.3	-
交通安全対策特別交付金	1,380,167	0.1	1,380,167	0.1	道府県たばこ税	9,424,634	0.8	-
分担金・負担金	3,773,737	0.2	-	-	ゴルフ場利用税	1,577,401	0.1	-
使用料	30,380,095	1.5	1,922,759	0.2	自動車取得税	9,648,490	0.8	-
手数料	13,355,200	0.7	-	-	軽油引取税	39,552,481	3.2	-
国庫支出金	174,262,560	8.6	-	-	自動車税	91,533,699	7.3	-
国有提供交付金	-	-	-	-	釧路区税	1	0.0	-
財産収入	12,452,663	0.6	573,159	0.0	固定資産税特例	-	-	-
寄附金	267,121	0.0	-	-	法定外普通税	-	-	-
繰入金	51,432,913	2.5	-	-	目的税	16,571	0.0	-
繰越金	20,972,207	1.0	-	-	法定目的税	16,571	0.0	-
諸収入	33,971,215	1.7	36,788	0.0	狩猟税	16,571	0.0	-
地方債	212,539,190	10.5	-	-	法定外目的税	-	-	-
うち減収補填債(特例分)	13,040,000	0.6	-	-	旧法による税	673	0.0	-
うち臨時財政対策債	126,171,000	6.2	-	-	合計	1,250,484,759	100.0	23,022,521
歳入合計	2,032,743,502	100.0	1,271,813,068	100.0				

区分		平成28年度		平成27年度	
徴収率 (%)	現計	99.1	98.3	99.0	98.0
	合計	98.9	97.0	98.8	96.5
	道府県民税 事業税	100.2	99.9	100.1	99.8

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）				
目的別歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	3,641,648	0.2	22,751	3,641,510
総務費	120,446,096	6.0	24,540,814	81,235,175
民生費	396,031,753	19.7	11,069,536	359,647,124
衛生費	59,524,638	3.0	8,216,237	36,377,094
労働費	5,281,880	0.3	97,357	3,273,042
農林水産業費	23,017,713	1.1	10,911,150	14,734,128
商工費	20,517,240	1.0	6,777,017	15,995,026
土木費	101,352,572	5.0	67,625,590	44,270,542
警察費	191,899,921	9.5	8,083,163	174,283,115
消防費	-	-	-	-
教育費	600,620,991	29.8	14,792,562	452,152,894
災害復旧費	405,233	0.0	-	767
公債費	304,034,546	15.1	-	296,861,164
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	1,335,634	0.1	-	1,335,634
配当割交付金	6,956,762	0.3	-	6,956,762
株式等譲渡所得割交付金	4,306,272	0.2	-	4,306,272
地方消費税交付金	146,004,584	7.3	-	146,004,584
ゴルフ場利用税交付金	1,103,820	0.1	-	1,103,820
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	8,537,257	0.4	-	8,537,257
軽油引取税交付金	18,076,283	0.9	-	18,076,283
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	2,013,094,843	100.0	152,136,177	1,668,792,193

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,076,744,623	53.5	943,079,270	930,963,225	66.0
人件費	729,808,950	36.3	620,439,023	608,322,978	43.1
うち職員給	539,352,491	26.8	430,951,771	422,858,418	30.0
扶助費	43,988,908	2.2	26,866,864	26,866,864	1.9
公債費	302,946,765	15.0	295,773,383	295,773,383	21.0
元利償還金	302,946,765	15.0	295,773,383	295,773,383	21.0
内訳					
うち元金	254,067,426	12.6	248,051,443	248,051,443	17.6
うち利子	48,879,339	2.4	47,721,940	47,721,940	3.4
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	783,808,810	38.9	689,153,649	461,653,393	32.7
物件費	68,499,568	3.4	48,704,903	38,567,875	2.7
維持補修費	9,226,856	0.5	3,684,875	3,524,582	0.2
補助費等	661,878,219	32.9	614,138,051	418,890,599	29.7
繰出金	4,092,747	0.2	4,092,747	-	-
積立金	24,750,983	1.2	10,126,236	-	-
投資及び出資金	7,736,500	0.4	7,736,500	-	-
貸付金	7,623,937	0.4	670,337	670,337	0.0
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	152,541,410	7.6	36,559,274	-	-
うち人件費	4,596,353	0.2	3,890,016	-	-
普通建設事業費	152,136,177	7.6	36,558,507	-	-
うち補助	55,897,800	2.8	1,098,946	-	-
うち単独	87,678,493	4.4	35,456,677	-	-
災害復旧事業費	405,233	0.0	767	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	2,013,094,843	100.0	1,668,792,193	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

平成28年度 神奈川県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	1,987,503	1,974,592	12,911	5,176	42,516	4,107,495	
2 公債管理特別会計	610,286	610,286	0	-	426,702	-	
3 公営競技収益配分金等管理会計	218	200	18	-	-	-	
4 地方消費税清算会計	561,086	556,820	4,266	-	-	-	
5 市町村自治振興事業会計	10,172	8,970	1,202	-	1,599	1,140	
6 災害救助基金会計	155	155	0	-	154	-	
7 水源環境保全・再生事業会計	7,991	7,989	2	-	7,986	-	
8 農業改良基金会計	111	21	90	-	-	105	
9 恩賜記念林業振興基金会計	155	78	77	-	-	-	
10 林業改善基金会計	68	18	50	-	-	-	
11 沿岸漁業改善基金会計	165	23	142	-	-	-	
12 地方独立行政法人神奈川県立病院機構基金会計	4,933	4,933	0	-	-	44,648	
13 母子父子寡婦福祉基金会計	537	470	67	-	13	3,135	
14 介護保険財政安定化基金会計	201	201	0	-	-	-	
15 中小企業基金会計	3,789	3,117	672	-	433	13,858	
16 県営住宅管理事業会計	16,037	15,887	150	-	4,155	85,039	実質赤字額
計 一般会計等(統計)	2,041,512	2,021,864	19,649	5,176	4,255,419	-	

※一般会計等(統計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 水道事業会計	55,811	49,041	6,770	20,878	560	119,894	-	-	法適用企業
2 電気事業会計	7,727	7,075	652	27,636	-	5,084	-	-	法適用企業
3 公営企業資金等運用事業会計	788	937	▲149	25,982	-	-	-	-	法適用企業
4 相模川総合開発共同事業会計	1,495	1,495	-	-	-	-	-	-	法適用企業
5 酒匂川総合開発事業会計	1,092	1,092	-	-	-	-	-	-	法適用企業
6 流域下水道事業会計	19,701	16,654	3,047	2,500	4,093	31,931	32,713	-	法非適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									連結実質赤字額
計 公営企業会計等				76,995		156,909	32,713		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1 神奈川県内広域水道企業団	42,924	41,928	996	11,034	86	146,822	774	
2 神奈川県川崎競馬組合	68,989	67,856	1,134	1,134	-	-	-	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				12,168		146,822	774	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1 ○(一財)神奈川県厚生福利振興会	70	2,089	50	-	-	-	920	88	
2 (公財)神奈川県科学技術アカデミー	▲90	6,580	3,326	1,056	-	-	-	-	
3 (株)湘南国際村協会	▲52	1,651	1,000	-	-	-	-	-	
4 (公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	▲14	1,915	500	-	-	-	-	-	
5 (公財)かながわ国際交流財団	55	4,673	165	52	-	-	-	-	
6 (公財)神奈川県文学振興会	3	160	53	-	-	-	-	-	
7 (公財)神奈川県芸術文化財団	126	1,093	600	-	-	-	-	-	
8 (公財)かながわ健康財団	▲4	910	117	34	-	-	-	-	
9 (公財)神奈川県生活衛生営業指導センター	1	29	6	45	-	-	-	-	
10 (一財)あしがら勤労者いこいの村	1	90	4	-	-	-	-	-	
11 (公財)神奈川県都市整備技術センター	188	1,474	80	-	-	-	-	-	
12 (株)湘南なぎさパーク	156	2,086	310	-	-	-	-	-	
13 (公財)神奈川県下水道公社	0	137	55	-	-	-	-	-	
14 ○神奈川県道路公社	261	21,387	10,781	-	1,600	3,404	-	-	
15 ○神奈川県住宅供給公社	2,471	57,789	15	318	2,406	-	67,120	6,712	
16 (一財)神奈川県教育福祉振興会	▲69	685	50	-	-	-	-	-	
17 (公財)神奈川県体育協会	▲15	277	2	246	-	-	-	-	
18 (公財)神奈川県暴力追放推進センター	0	512	250	10	-	-	-	-	
19 (公財)かながわトラストみどり財団	3	428	300	140	-	-	-	-	
20 (公財)かながわ海岸美化財団	▲1	1,835	1,400	120	-	-	-	-	
21 ○(公財)神奈川県農業公社	▲7	117	28	32	-	-	68	48	
22 (公財)神奈川県栽培漁業協会	▲18	718	488	-	-	-	-	-	
23 三崎マリン(株)	13	566	20	-	-	-	-	-	
24 (一社)神奈川県畜産会	9	73	68	5	-	-	-	-	
25 (株)神奈川県食肉センター	38	279	20	-	-	-	-	-	
26 (公財)地球環境戦略研究機関	17	3,841	50	108	-	-	-	-	
27 ○(公財)神奈川県産業振興センター	65	4,470	300	1,232	4,449	-	-	38	
28 ○(独)神奈川県立病院機構	▲2,171	12,031	13,557	54	44,648	-	-	4,772	
29 (公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	▲16	1,003	150	-	-	-	-	-	
30 (公財)横浜市建築助成公社	655	27,610	2	-	-	-	-	-	
31 横浜新都市センター(株)	2,720	33,926	1,200	-	-	-	-	-	
32 (株)三浦海業公社	1	231	100	-	-	-	-	-	
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 地方公社・第三セクター等			35,047	3,452	53,103	3,404	68,108	11,658	

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率 (千円・%)					将来負担比率 (千円・%)					
区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	分母比	区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	分母比	内訳
元利償還金	123,715,450	120,767,645	120,028,246	9.5	将来負担額	4,280,180,288	4,251,893,945	4,255,418,539	336.5	PF事業に係るもの
減債基金積立不足算定額	38,930,738	31,171,009	24,593,499	1.9	債務負担行為に基づく支出予定額	25,118,804	22,564,624	20,395,701	1.6	いわゆる五省協定等に係るもの
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	155,042,550	154,179,160	154,652,328	12.2	公営企業債等繰入見込額	37,506,692	34,916,226	32,712,895	2.6	国営土地改良事業に係るもの
公営企業債の元利償還金に対する繰入金	4,396,378	3,924,371	3,464,571	0.3	組合等負担等見込額	1,941,000	1,290,000	774,000	0.1	森林総合研究所等が行う事業に係るもの
組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	838,000	720,000	560,000	0.0	退職手当負担見込額	537,848,684	529,962,140	508,823,062	40.2	地方公務員等共済組合に係るもの
債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	3,383,927	3,131,197	2,686,881	0.2	設立法人等の負債額等負担見込額	12,069,676	11,709,160	12,961,866	1.0	依頼土地の買い戻しに係るもの
一時借入金の利子	-	-	-	-	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの
合計	(A) 326,307,043	313,893,382	305,985,525		連結実質赤字額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの
内訳	平成26年度	平成27年度	平成28年度	分母比	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの
PF事業に係るもの	1,118,814	1,118,984	1,119,158	0.1	合計	(E) 4,894,665,144	4,852,336,095	4,831,086,063		その他上記に準ずるもの
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能基金	640,581,938	667,619,113	693,779,956	54.9	流域下水道事業会計
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	充当可能特定繰入	128,077,819	115,142,391	107,932,469	8.5	公営企業資金等運用事業会計

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

人口	9,155,389	人(H29.1.1現在)			
うち日本人	8,969,530	人(H29.1.1現在)			
面積	2,415.92	km ²			
歳入総額	2,032,743,502	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	2,013,094,843	千円	連結実質赤字比率	-	%
実質収支	5,176,156	千円	実質公債費比率	11.4	%
標準財政規模	1,433,234,672	千円	将来負担比率	127.0	%
地方債現在高	3,658,644,846	千円	グループ	H24 B H25 B H26 B	(年度毎) H27 B H28 B



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

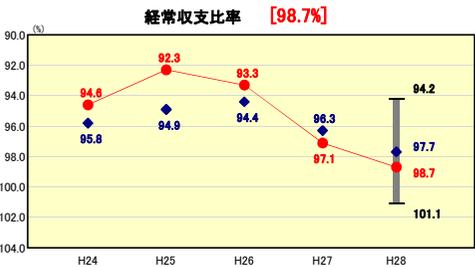
財政力



グループ内順位 都道府県平均 2/19 0.51

財政力指数の分析
 本県は、首都圏に位置し、大規模法人が多いことや県民所得が比較的高いことから、全国的にみて県税収入の割合が高く、財政力指数は0.91と全国平均0.51の1.8倍、類似団体平均と比較しても1.4倍と、高い財政力を有している。

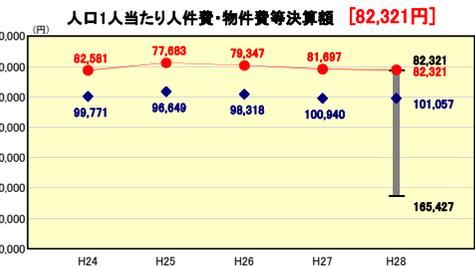
財政構造の弾力性



グループ内順位 都道府県平均 16/19 94.3

経常収支比率の分析
 人口規模に応じて配置する警察官や教職員の人員費負担が多く、社会保障関係費などが増加していることから、経常収支比率は高い数字で推移している。
 平成28年度は、介護・医療・児童関係費の増や臨時財政対策債の償還の本格化による増により経常収支比率が増加した。
 今後も引き続き、人員費の抑制、県債の発行抑制による公債費削減、施策・事業の見直し等により、経常経費の抑制に努めていく。

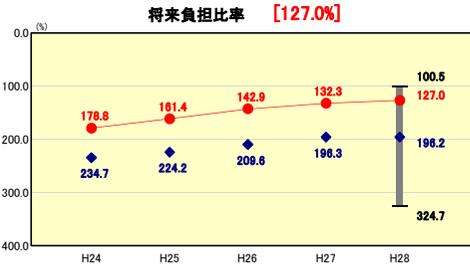
人件費・物件費等の状況



グループ内順位 都道府県平均 1/19 110,244

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析
 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は82,321円と類似団体一低いコストとなっている。主要要因として、本県では全国に先駆けて平成9年から行政システム改革に取り組み、職員数全体の伸びを抑えており、人口一人当たりの人件費が低くなっているためである。今後も引き続き、行政改革に取り組んでいく。

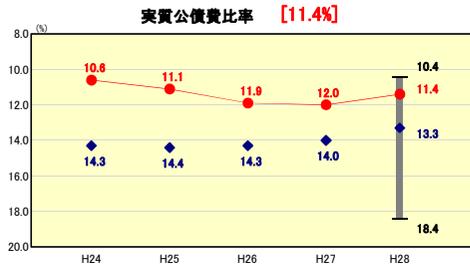
将来負担の状況



グループ内順位 都道府県平均 2/19 173.4

将来負担比率の分析
 早期健全化基準(400%)を大きく下回っている。教職員の新陳代謝による退職手当負担見込額の減少などにより、前年度より5.3ポイント減少した。今後も引き続き、県債の発行抑制に努めるなど、健全化に向けて取り組んでいく。

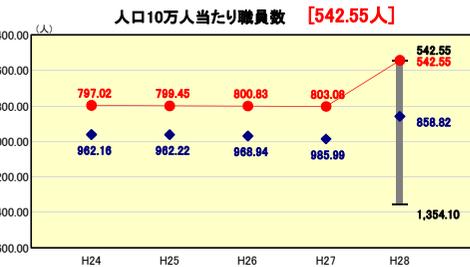
公債費負担の状況



グループ内順位 都道府県平均 5/19 11.9

実質公債費比率の分析
 従来から県債の発行抑制に取り組んでおり、実質公債費比率は、11.4%と低い水準にある。今後増加が見込まれる公債費負担をできるだけ軽減するため、県債管理目標の達成に向け、引き続き、県債の発行抑制に努めていく。

定員管理の状況



グループ内順位 都道府県平均 1/19 1,023.20

人口10万人当たり職員数の分析
 県費負担教職員の給与負担等の指定都市への移譲により、教育公務員数が平成29年度当初に大きく減少した。
 簡素で効率的な県政の実現を目指し、全国に先駆けて平成9年度から行政改革に取り組み、一般行政部門の人口10万人当たり職員数は全国最少となっている。
 引き続き、職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革を行い、適切な定数管理に努めていく。

給与水準(国との比較)



グループ内順位 都道府県平均 10/19 100.2

ラスパイルズ指数の分析
 国及び県において経験年数階層ごとの職員構成が変化したこと等により、前年度より0.7ポイント減少した。
 職員の給与水準は県内民間企業との均衡を基本としており、県内民間企業の給与水準は全国平均を上回る状況にあるため、本県のラスパイルズ指数は高くなる傾向にあるが、今後も引き続き、給与制度全般にわたり厳正な運用に努めていく。

(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

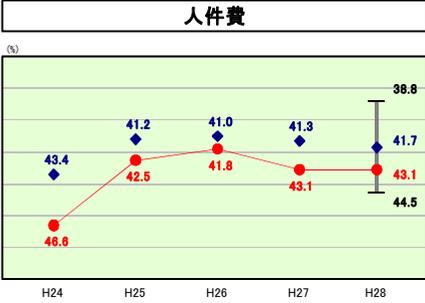
神奈川県

経常収支比率の分析

人口	9,155,389人	(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	8,969,530人	(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	2,415.92km ²		実質公債費比率	11.4%
歳入総額	2,032,743,502千円		将来負担比率	127.0%
歳出総額	2,013,094,843千円		グループ	H24 B H25 B H26 B
実質収支	5,176,156千円		(年度毎)	H27 B H28 B
標準財政規模	1,433,234,672千円			
地方債現在高	3,658,644,846千円			

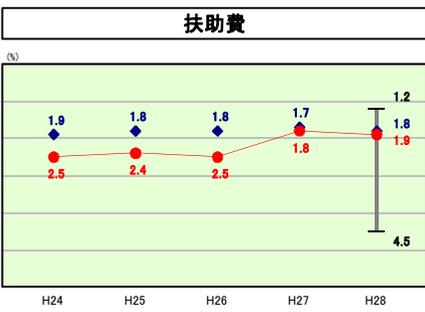
● 当該団体値
◆ グループ内平均値
T グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



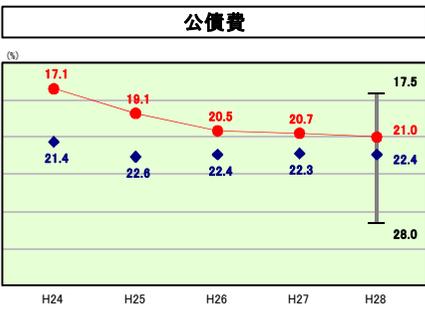
人件費の分析

全国の人口が減少している中、本県では、引き続き人口が増加しているため、人口規模に応じた多数の教職員や警察職員を配置する必要があることから、類似団体に比べて、人件費に係る経常収支比率が高くなっている。ただし、県民1人当たりの人件費及び人件費に準ずる費用は73,889円と、類似団体に最も低い金額となっている。今後も引き続き、人件費の抑制に取り組んでいく。



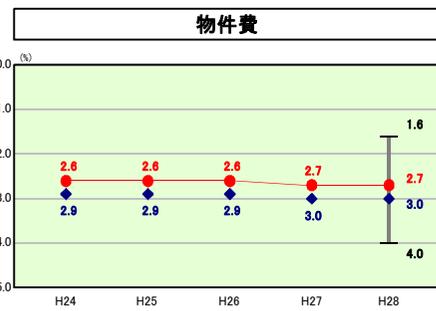
扶助費の分析

医療関係費が多いことなどから、類似団体平均を上回っている。県民生活に直接かかわる経費であるため、今後も引き続き、適切に対応していく。



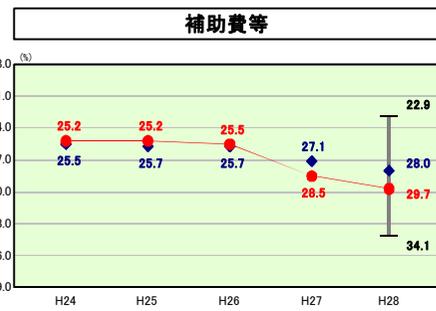
公債費の分析

県債管理目標として「平成35年度までに県債全体の残高を2兆円台に減少」を掲げて、県債の発行抑制に取り組んでおり、類似団体平均を下回っている。今後増加が見込まれる公債費負担をできるだけ軽減するため、県債管理目標の達成に向け、引き続き、県債の発行抑制に努めていく。



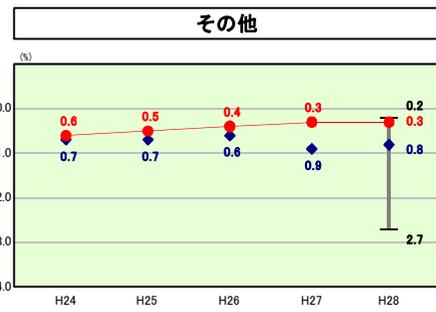
物件費の分析

これまで徹底した施策・事業の見直しや内部管理経費の削減等の行財政改革に取り組んだ結果、類似団体平均を下回っている。今後も引き続き、施策・事業の見直しなどに取り組んでいく。



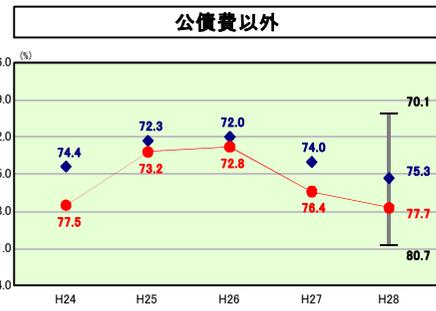
補助費等の分析

補助費等は、県から市町村や団体などに対する補助金や負担金などの支出であり、三位一体の改革や社会保障制度改革に伴う県負担の増により高い水準で推移している。特に、平成28年度は後期高齢者医療定率負担金や公立高等学校就学支援金の増により補助費等が増加した。今後も引き続き、県と市町村の役割や団体への補助の必要性などを考慮し、補助金の見直しを進めていく。



その他の分析

その他は維持補修費及び貸付金の合計であるが、前年度と横ばいになっている。



公債費以外の分析

人件費や扶助費が類似団体平均を上回っている。今後も引き続き、人件費の抑制など、行財政改革に取り組んでいく。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成28年度

神奈川県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

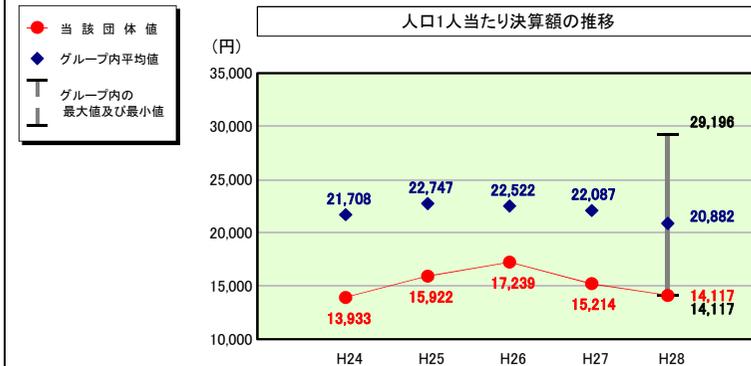
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	729,808,950	79,714	96,663	▲ 17.5
賃金 (物件費)	533,405	58	172	▲ 66.3
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	495	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	-	-	36	-
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	4,596,353	502	919	▲ 45.4
▲退職金	▲ 58,451,777	▲ 6,384	▲ 8,688	▲ 26.5
合計	676,486,931	73,889	89,598	▲ 17.5

参考

	当該団体	グループ内平均	対比 (差引)
人口100,000人当たり職員数 (人)	542.55	858.82	▲ 316.27
ラสบাইレス指数	102.9	101.0	1.9

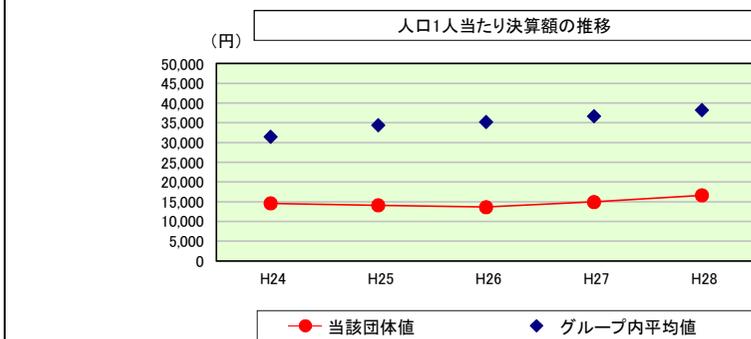
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	120,028,246	13,110	27,098	▲ 51.6
積立不足額を考慮して算定した額	24,593,499	2,686	3,150	▲ 14.7
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	154,652,328	16,892	17,943	▲ 5.9
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	3,464,571	378	933	▲ 59.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	560,000	61	73	▲ 16.4
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	2,686,881	293	636	▲ 53.9
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 8,208,152	▲ 897	▲ 1,999	▲ 55.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 168,533,261	▲ 18,408	▲ 26,952	▲ 31.7
合計	129,244,112	14,117	20,882	▲ 32.4

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H24	132,590,185	14,597	▲ 2.9	31,502	▲ 6.9	4.0
うち単独分	61,977,109	6,823	▲ 4.5	11,020	▲ 11.8	7.3
H25	128,237,595	14,091	▲ 3.5	34,374	9.1	▲ 12.6
うち単独分	67,545,099	7,422	8.8	10,917	▲ 0.9	9.7
H26	124,372,755	13,642	▲ 3.2	35,216	2.4	▲ 5.6
うち単独分	68,392,672	7,502	1.1	12,644	15.8	▲ 14.7
H27	136,454,248	14,936	9.5	36,736	4.3	5.2
うち単独分	73,120,261	8,003	6.7	13,410	6.1	0.6
H28	152,136,177	16,617	11.3	38,259	4.1	7.2
うち単独分	87,678,493	9,577	19.7	13,379	▲ 0.2	19.9
過去5年間平均	134,758,192	14,777	2.2	35,217	2.6	▲ 0.4
うち単独分	71,742,727	7,865	6.4	12,274	1.8	4.6

(5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

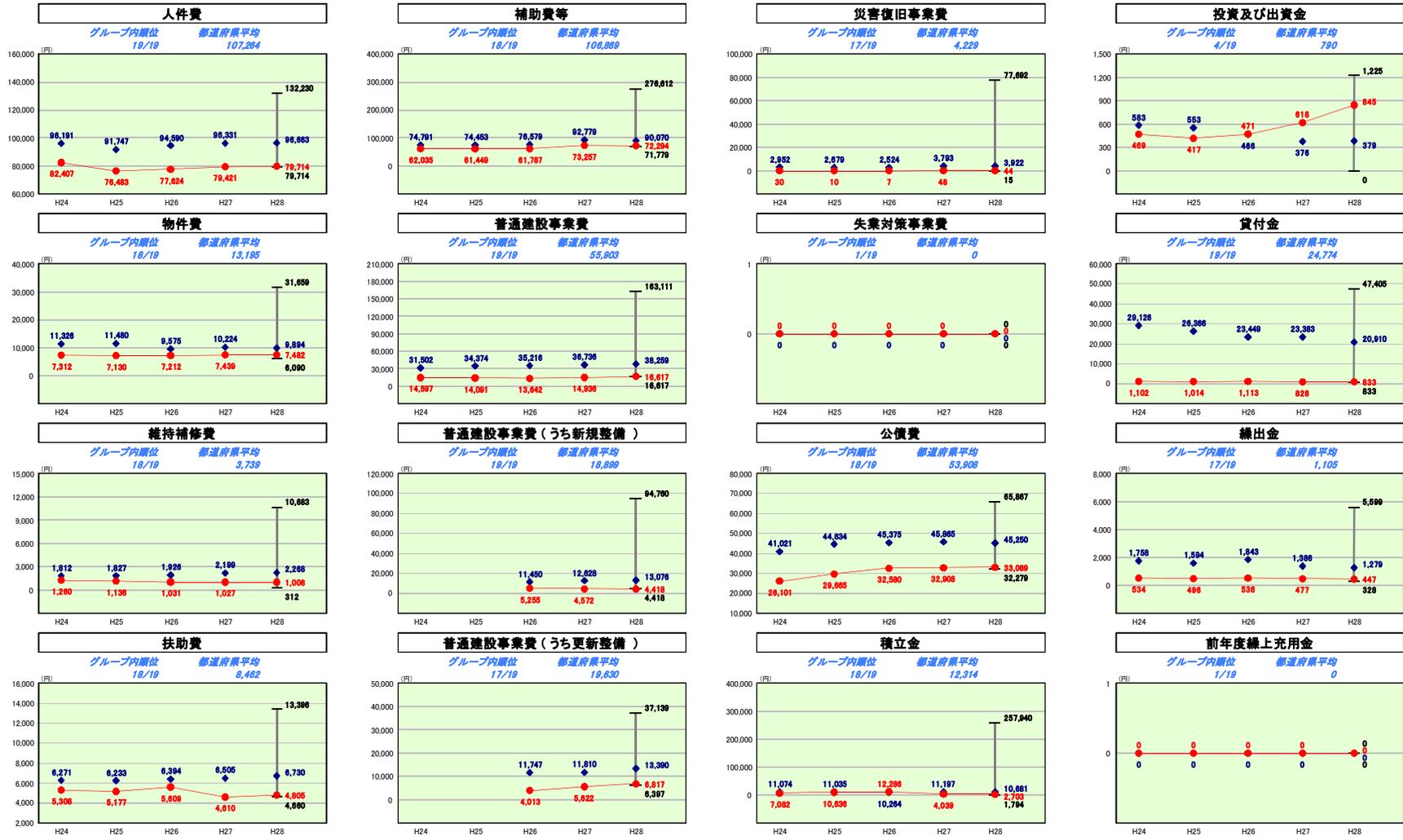
平成28年度

神奈川県

人	9,155,389	人(H29.1.1現在)			
うち日本人	8,969,530	人(H29.1.1現在)			
面積	2,416.92	km ²			
歳入総額	2,032,743,502	千円	実質赤字比率	-	%
歳出総額	2,013,094,943	千円	繰上実質赤字比率	-	%
実質収支	5,176,156	千円	実質公債費比率	11.4	%
標準財政規模	1,433,234,672	千円	将来負担比率	127.0	%
地方債残高	3,658,644,946	千円	グループ	H24 日	H25 日
			(年度毎)	H27 日	H28 日

- 当該団体値
- ◆ グループ内平均値
- ┆ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 (Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満)
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



性質別歳出の分析
 歳出決算総額は、住民一人当たり219,880円となっている。
 主な構成項目である人件費は、平成25、26年度に給与減額措置を実施し減少したが、平成27年度は給与減額措置終了により増加している。また、平成28年度は給与改定等により増加しているものの、類似団体平均と比べて低い水準で推移している。
 また、公債費は、過去に発行した臨時財政対策債の償還により増加傾向にあるが、償還の発行抑制に取り組み、類似団体平均と比べて低い水準で推移している。
 さらに普通建設事業費は、県内に3つの指定都市を抱え道路建設などは指定都市が担っていることから、類似団体平均と比べて低い水準で推移している。

(6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

平成28年度

神奈川県

人口	9,155,389	人(H29.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,069,530	人(H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,416.92	km ²	実質公債費比率	11.4	%
歳入総額	2,032,743,502	千円	将来負担比率	127.0	%
歳出総額	2,013,094,943	千円	グループ	H24 日 H25 日 H26 日	
実収支	5,176,156	千円	(年度毎)	H27 日 H28 日	
標準財政規模	1,433,234,672	千円			
地方債残高	3,650,644,946	千円			

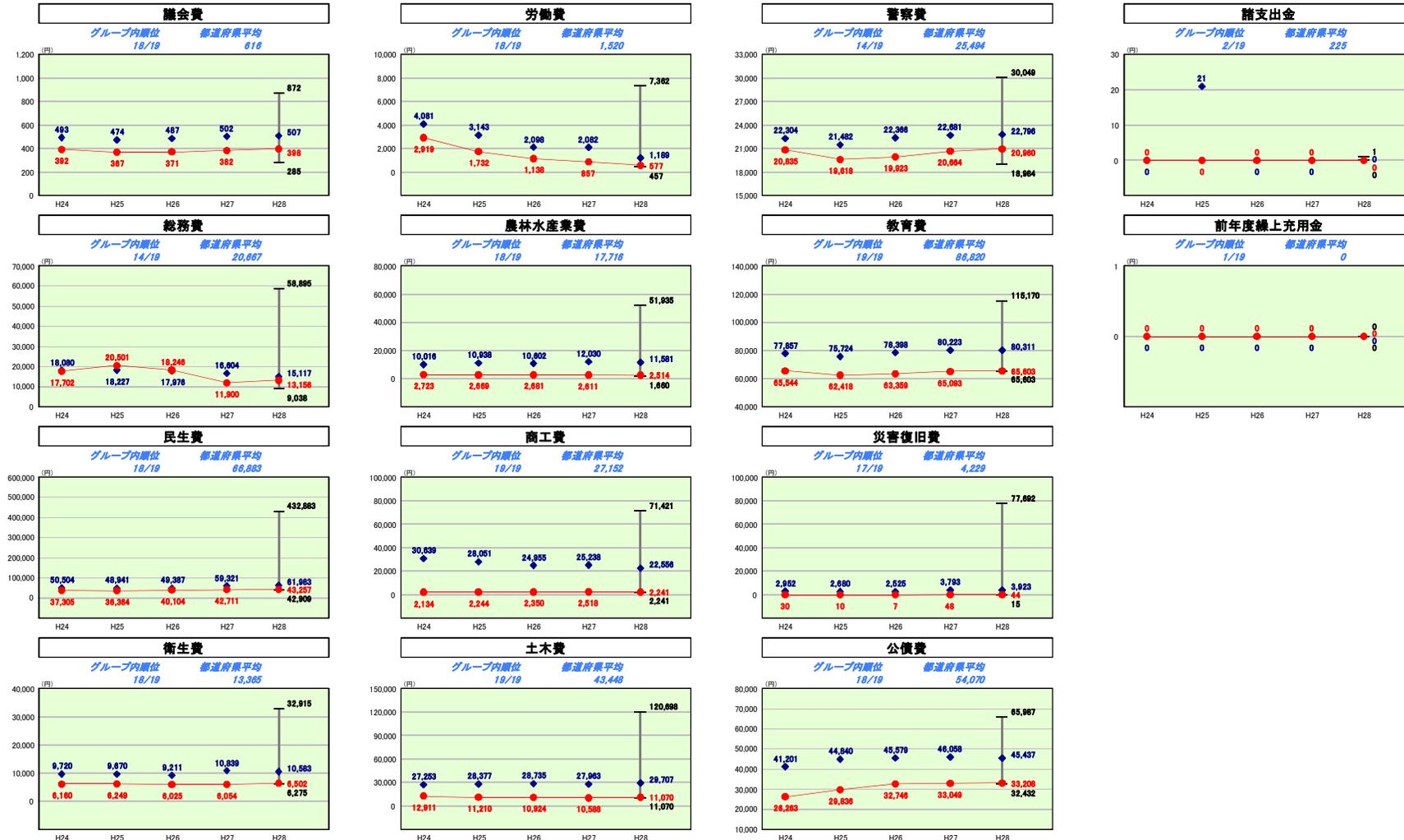
● 当該団体値
◆ グループ内平均値
┌ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。

{ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 }

※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

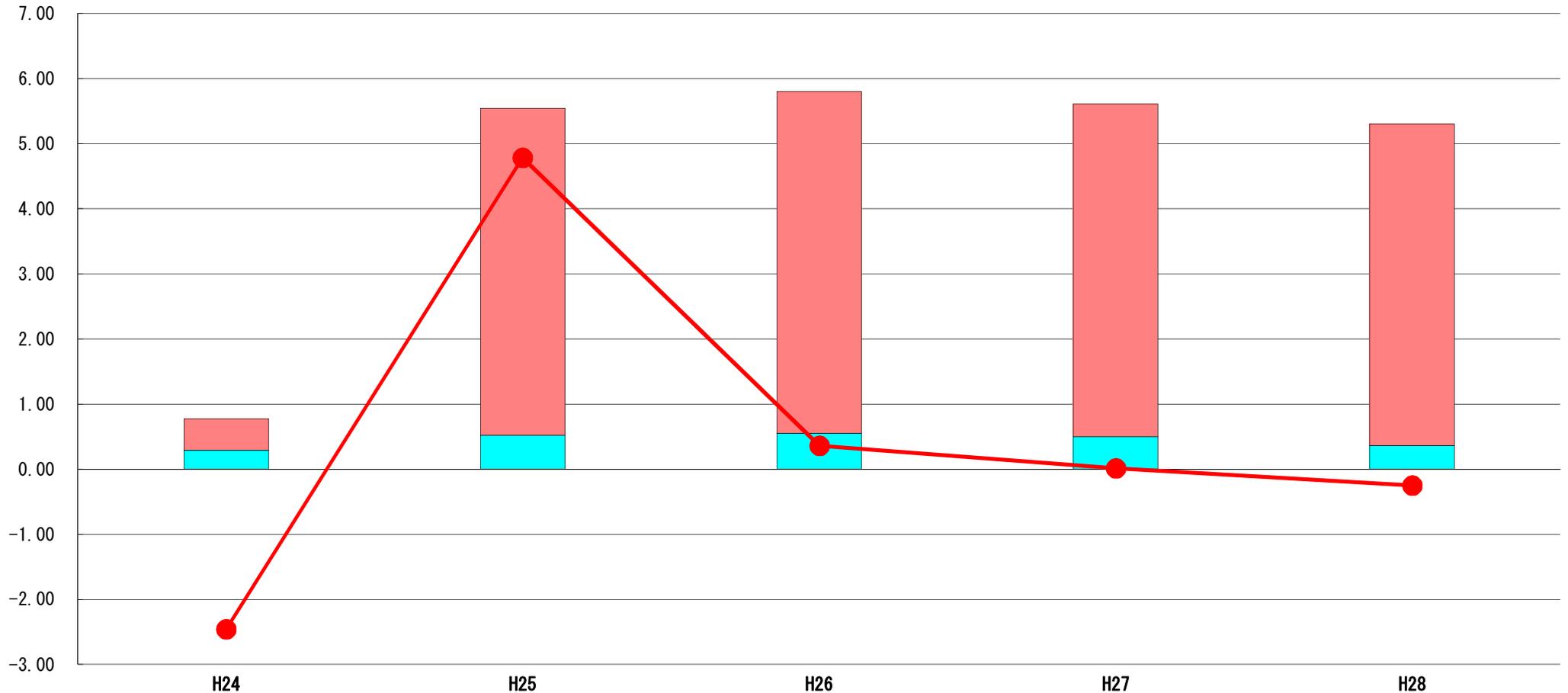
教育費及び警察費については、平成25、26年度に給与減額措置を実施したことから減少し、平成27年度は給与減額措置が終了したことによって増加した。平成28年度は給与改定等により増になったものの、類似団体平均と比べて低い水準で推移している。
また、公債費は過去に発行した臨時財政対策債の償還により増加傾向にあるが、県債の発行抑制に取り組み、類似団体平均と比べて低い水準で推移している。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

平成28年度

神奈川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28
 財政調整基金残高		0.48	5.02	5.25	5.11	4.94
 実質収支額		0.29	0.52	0.55	0.50	0.36
 実質単年度収支		▲ 2.46	4.78	0.36	0.01	▲ 0.25

分析欄

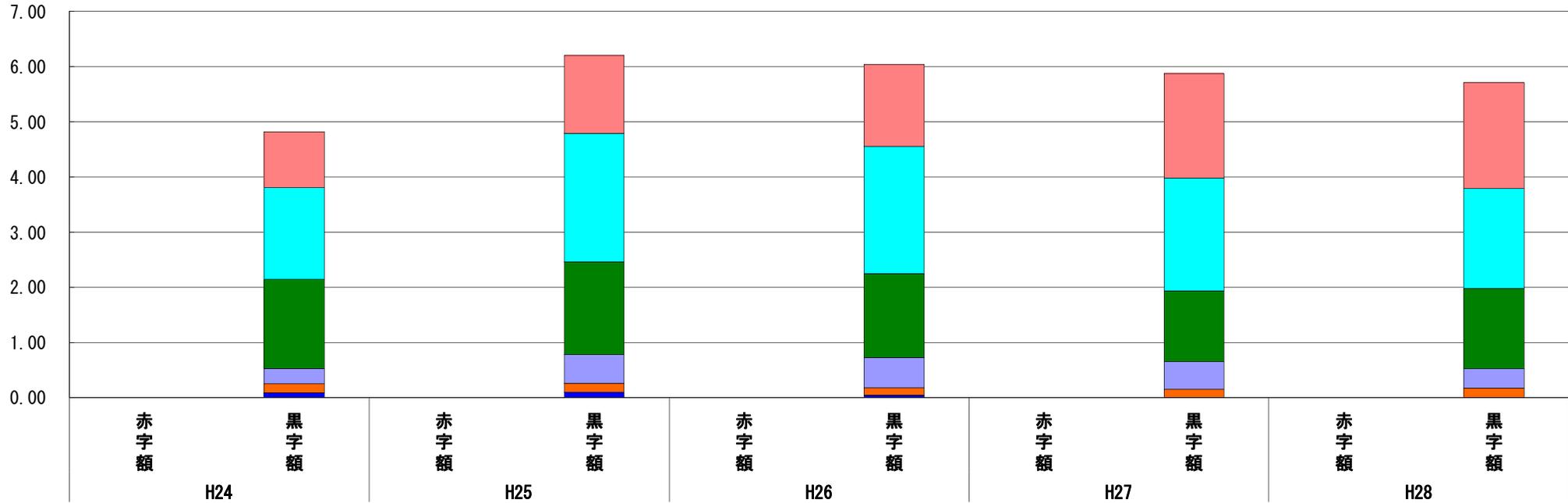
平成28年度の普通会計は、県税収入が5年ぶりの減収となったことに加え、財政調整基金の取り崩しを行ったことから、実質単年度収支は減少した。なお、平成24年度の実質単年度収支が大きく減少しているのは、臨時特例企業税敗訴判決に伴う返還金財源確保のため財政調整基金を取り崩したことなどによる。
今後も引き続き、慎重な財政運営に努めていく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

平成28年度

神奈川県

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H24	H25	H26	H27	H28
電気事業会計		1.01	1.41	1.48	1.90	1.92
公営企業資金等運用事業会計		1.66	2.33	2.31	2.04	1.81
水道事業会計		1.62	1.68	1.52	1.29	1.45
一般会計		0.28	0.52	0.55	0.50	0.36
流域下水道事業会計		0.16	0.16	0.14	0.15	0.17
公債管理特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公営競技収益配分金等管理会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地方消費税清算会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	▲ 0.00	-
その他会計（黒字）		0.09	0.10	0.04	0.00	0.00

分析欄

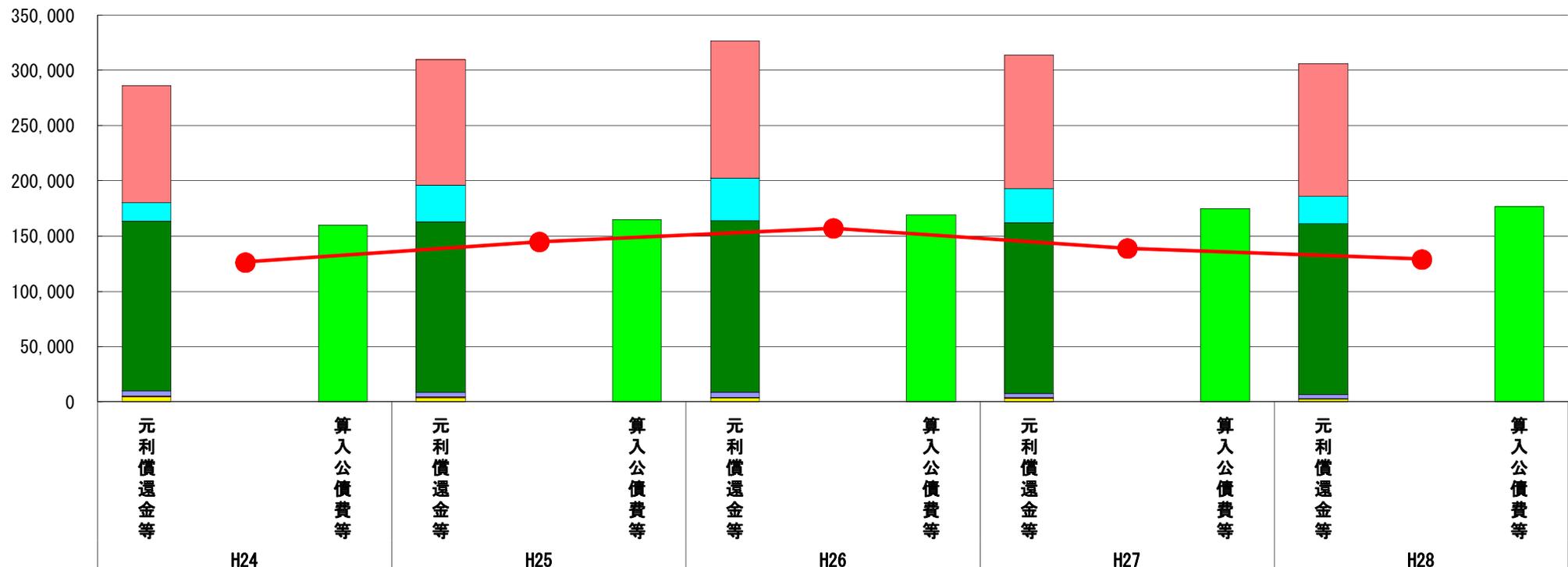
一般会計の実質収支は黒字である。また、公営企業会計においても、全ての会計で資金不足が生じていないため、連結赤字比率は該当がない。
今後も引き続き、慎重な財政運営に努めていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

平成28年度

神奈川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
元利償還金等 (A)	元利償還金		106,053	113,481	123,715	120,768	120,028
	減債基金積立不足算定額		16,645	33,370	38,931	31,171	24,593
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		153,587	154,267	155,043	154,179	154,652
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		4,591	3,993	4,396	3,924	3,465
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		1,000	926	838	720	560
	債務負担行為に基づく支出額		4,314	3,683	3,384	3,131	2,687
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		159,627	164,822	169,145	174,897	176,741
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		126,563	144,898	157,162	138,996	129,244

分析欄

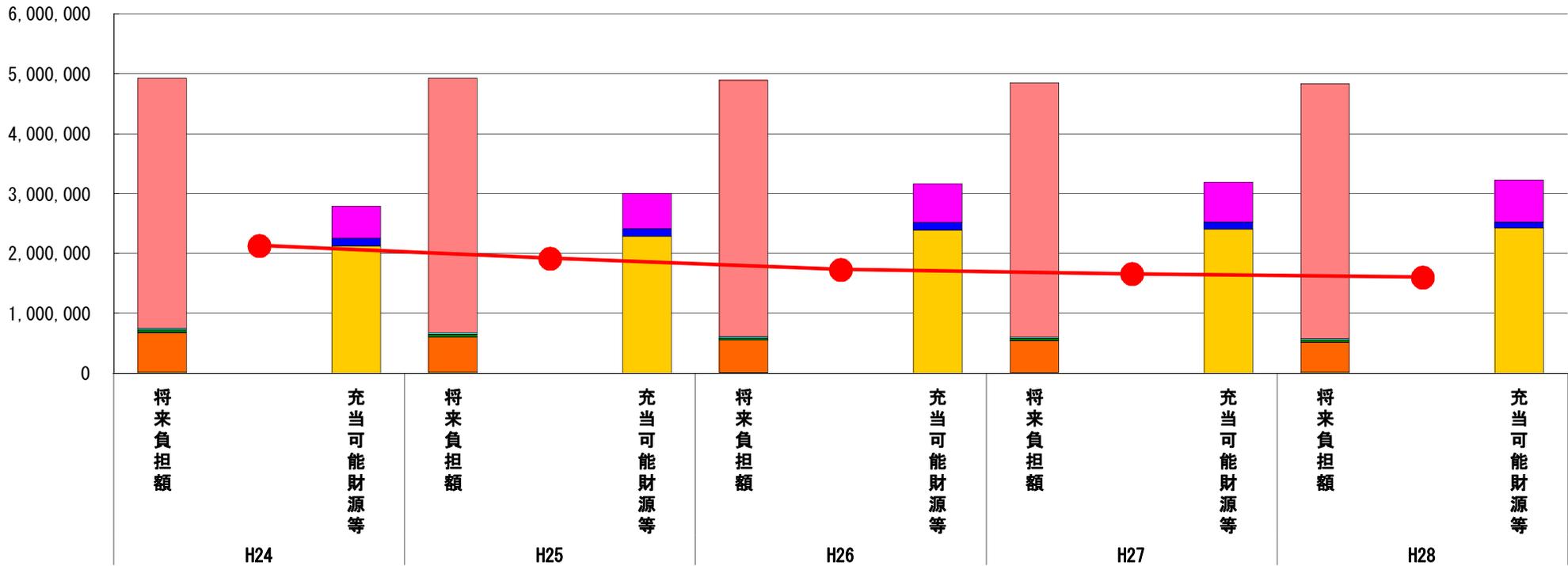
従来から県債の発行抑制に取り組んでいることから、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債を除く通常の県債現在高は、減少している。
 平成28年度は、臨時財政対策債の償還の本格化に伴い、算入公債費等が増加したことにより、実質公債費比率の分子は小さくなっている。
 今後増加が見込まれる公債費負担をできるだけ軽減するため、県債管理目標の達成に向け、引き続き、県債の発行抑制に努めていく。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成28年度

神奈川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H24	H25	H26	H27	H28
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		4,178,464	4,248,705	4,280,180	4,251,894	4,255,419
	債務負担行為に基づく支出予定額		30,827	27,860	25,119	22,565	20,396
	公営企業債等繰入見込額		42,318	40,237	37,507	34,916	32,713
	組合等負担等見込額		3,480	2,681	1,941	1,290	774
	退職手当負担見込額		659,064	587,961	537,849	529,962	508,823
	設立法人等の負債額等負担見込額		11,983	12,270	12,070	11,709	12,962
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		3,164	2,588	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		536,838	582,809	640,582	667,619	693,780
	充当可能特定歳入		130,998	133,588	128,078	115,142	107,932
	基準財政需要額算入見込額		2,126,140	2,284,369	2,392,739	2,410,432	2,422,781
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,135,323	1,921,536	1,733,266	1,659,143	1,606,592

分析欄

将来負担額の大部分を占める一般会計等に係る地方債現在高は、本県のこれまでの発行抑制の取組みにより通常の県債現在高は減少しているものの、臨時財政対策債の現在高は年々増加している。

一方、教職員の新陳代謝等により退職手当負担見込額が減少するなど、将来負担額の他の項目については、概ね減少傾向にある。また、基準財政需要額算入見込額の増により充当可能財源等が増加していることから、将来負担比率の分子の額は、減少傾向となっている。

今後も引き続き、健全化に向けて取り組んでいく。

(11) 都道府県公会計指標分析／財政指標組合せ分析表

平成28年度

神奈川県

人口	9,155,389人 (H29.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	8,969,530人 (H29.1.1現在)	連結実質赤字比率	- %
面積	2,415.92 km ²	実質公債費比率	11.4 %
歳入総額	2,032,743,502千円	将来負担比率	127.0 %
歳出総額	2,013,094,843千円	グループ (年度毎)	H24 B H25 B H26 B
実質収支	5,176,156千円		H27 B H28 B
標準財政規模	1,433,234,672千円		
地方債現在高	3,658,644,846千円		

● 当該団体値
◆ グループ内平均値

※ 有形固定資産減価償却率は平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。

有形固定資産減価償却率 有形固定資産減価償却率 [-] 固定資産台帳整備中・未整備	グループ内順位 /- 都道府県平均 48.8	債務償還可能年数 債務償還可能年数 [-] 平成29年度より公表	有形固定資産減価償却率の分析欄 債務償還可能年数の分析欄
--	---------------------------	---	---------------------------------

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析

将来負担比率と有形固定資産減価償却率の推移

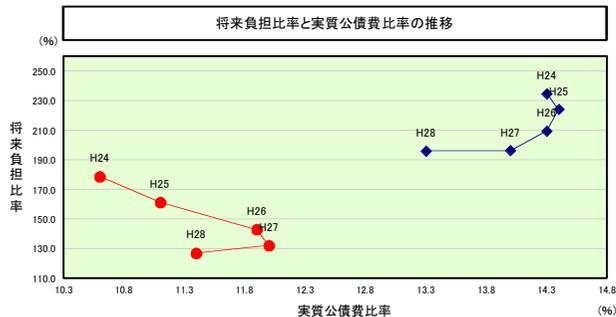
固定資産台帳整備中・未整備

分析欄

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/
グループ内平均値	将来負担比率	/	/	/	/	/
	有形固定資産減価償却率	/	/	/	/	/

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



分析欄

将来負担比率は、これまでの県債の発行抑制の取組みにより通常の県債残高が減少していることや教職員の新陳代謝等により、退職手当負担見込額が減少していることなどから低下している。一方、実質公債費比率は、臨時財政対策債の償還の本格化に伴い、算入公債費等が増加したことにより低下している。将来負担比率、実質公債費比率ともに低下しており、また類似団体平均を下回っていることから、今後も引き続き、健全化に向けて取り組んでいく。

(参考)

		H24	H25	H26	H27	H28
当該団体値	将来負担比率	178.8	161.4	142.9	132.3	127.0
	実質公債費比率	10.6	11.1	11.9	12.0	11.4
グループ内平均値	将来負担比率	234.7	224.2	209.6	196.3	196.2
	実質公債費比率	14.3	14.4	14.3	14.0	13.3

(12)-1都道府県施設類型別ストック情報分析表①

平成28年度

神奈川県

人口	9,155,389	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,949,530	人(H28.1.1現在)	運給実質赤字比率	-	%
面積	2,416.92	km ²	実質公債費比率	11.4	%
歳入総額	2,032,743,502	千円	将来負担比率	127.0	%
歳出総額	2,013,094,843	千円	グループ	H24 B H25 B H26 B	
実質収支	5,176,156	千円	(年度毎)	H27 B H28 B	
標準財政規模	1,433,234,672	千円			
地方債残高	3,659,644,646	千円			

※平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。
 ※グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 { Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 }
 ※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
 ※グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄
 ここに入力

(12)-2都道府県施設類型別ストック情報分析表②

平成28年度

神奈川県

人口	9,155,389	人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,949,530	人(H28.1.1現在)	運給実質赤字比率	-	%
面積	2,416.92	km ²	実質公債費比率	11.4	%
歳入総額	2,032,743,502	千円	将来負担比率	127.0	%
歳出総額	2,013,094,843	千円	グループ	H24 B	H25 B
実質収支	5,176,156	千円	(年度毎)	H27 B	H28 B
標準財政規模	1,433,234,672	千円			
地方債残高	3,659,644,646	千円			

※平成30年1月1日時点で固定資産台帳を整備済みの団体について、数値を記載している。

※グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。

{ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 }

※住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。

※グループ内順位及び都道府県平均は、平成28年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

固定資産台帳整備中・未整備

施設情報の分析欄

ここに入力